

沼津高専 電気電子工学科PBL C^3 について

(C^3 は、C Cubic (シーキュービック) と読みます。)

望月孔二 教授



図書館で調査



発表準備

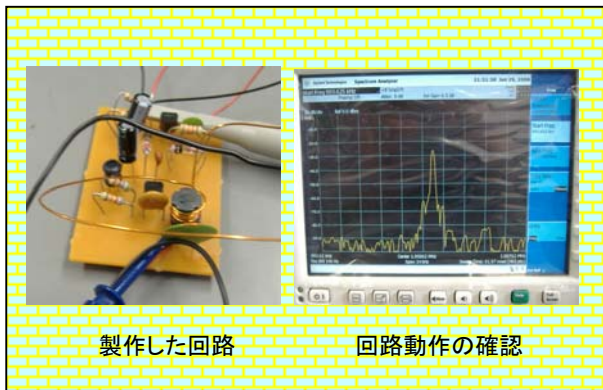


中間発表会(回路設計状況の報告)

電気電子工学科では、第4学年の学生実験の前期分をPBLの時間とし、学生の技術スキルと人間力を育むため教育を実施しています。

このPBLは、各グループが電子回路技術(Circuit)によって通信装置(Communication)や、制御装置(Control)を設計・作成することを課題としていることから、 C^3 (C Cubic) と呼ばれています。各グループはまた ①社会と電気電子工学技術、②計画書、③設計書、④中間発表(ppt)、⑤最

PBLとは、Project(/Problem) based Learning のことで、『実社会で役に立つプロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、知識の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法』です。



製作した回路

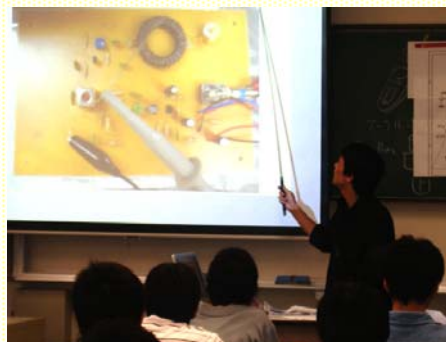
回路動作の確認

終報告書、⑥最終発表(ppt) という6通の報告書を提出します(pptは発表原稿と発表です)。測定装置の整備には校長リーダーシップ経費からの支援も受けた、期待の教育方法です。

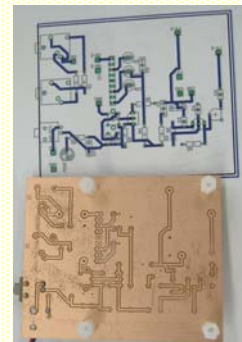
2006年度はこの教育の初年度であり、予定通り進まない週もあり苦労しましたが、最後には集中力を発揮して、(できれば微妙に違いますが)どのグループの装置も動作が確認できました。学生の評判も良く、更なる充実が期待されています。



回路動作を検討しながら組立てる



最終発表会(設計から回路動作の検証まで)



加工した基板